



長野市郊外に位置する、おおらかな土地で家づくりをされたKさま。
恵まれた環境を前に「開け放てられる、開放的な家」というご夫婦の要望は必然だったのでしょうか。
部屋をこまごまと区切りすぎない広がり間取りと、南側全面に設けた大きな開口で、
家じゅうどこにいても光と風を思う存分楽しめる心地よい暮らしにおじゃましました。

コッパくんのお宅訪問

Coppa's Home Visit

No.74



ガレージはファサードのポイントにもなり、濡れずに玄関と行き来ができて便利。



長野市 K様ご家族/
ご夫婦とお子さんの3人住まい
竣工/H28年3月 営業/小坂篤史
敷地面積/197坪 I C/藤澤知広
延床面積/39.9坪 施工/平澤雄太

家づくりのきっかけや工房信州との出会いを教えてください！

奥様 休日のお出かけついでに、上田展示場にふらっと立ち寄ったのが最初でした。いまだき土間の家があるんだなあと、新鮮な驚きがありましたね。それから土地探しが思うように進まずにいたのですが、実家から空き家になった土地を譲り受ける話をもらったことがタイミングに。広い土地なので、花や野菜を収穫して作業するのに土間のある家がぴったりだ、と思いました。

ご主人 もともと雑誌でいくつかの木の家が気になっており、工房信州の家もその中のひとつ。住宅メーカーから工務店まで何社か見学しましたが、機械ありきの家の在り方には違和感を感じました。そんな中、**エアバス工法のつくりは非常にシンプルで**

理にかなっていて、機械に頼らずメンテナンスの心配もない。 共感できました。もう一つの決め手は、自分の山の木が使えること。もともと希望があったわけではありませんが、工房信州の積極的な取組みを聞き、祖父の代から手を入れてきた山の木を活かせるなら是非使いたい！と。

竣工から3ヶ月。
お住まい心地はいかがですか？

ご主人 きれいに住み続けられる家を目指していましたが、**それぞれの空間に収納がしっかりとある**のできちんと片付けられています。夜寝る前には机の上に物が無い状態に、というルールを家族で決めたことも大きいかも。薪ストーブも汚れを気にせず使えるよう、土間に置いてもらいました。使い勝手も良さそうで、本格的な冬が来る

のが楽しみです。それから、**意外にも遮音性がとても良い**のが嬉しい驚きでした。道沿いでも車の音が全く気になりません！

奥様 アクセントカラーをモスグリーンにして、土間の洗面器や家具にも取り入れましたが、一番こだわったのはキッチン壁面のタイル！雑誌で見たイメージを参考に気に入ったタイルを探し、目地もブラックの色味でカッコよくまとめました。**毎日使う空間は機能性ももちろんですが、気に入ったデザインにこだわって**とてもよかったです。



営業 小坂篤史 庭に繋がる開放的なプラン、田園と山並みに溶け込む美しい佇まい、想像以上のお住まいが出来ました。立地条件・環境を最大限活かすことを大切に、ご提案します。



Focus on the Owner!!

職場の華道クラブで生け花に触れた奥様。家のあちこちで、気負わずさりげなく活けられた花が暮らしを彩ります。庭の花壇は、お父様が使っていた重機のキャタビラを再利用！今後の庭づくりも楽しみのひとつ。



フルオープンサッシで外とのつながりが濃密な土間サロン。機能的でありながら、人を招く空間としてデザイン性にもこだわった。



太鼓梁や柱は、ご主人実家の山の木。節の少ない美しい材が、代々手をかけてきた持ち山の歴史を物語るようだ。



奥様こだわりのキッチンタイル。生活空間からもよく見え、インテリアのアクセントにも。

